

第 82 回分析化学討論会

講演募集要項等につきましては、本号お知らせ欄の末尾に掲載しました。ご参照いただきますようお願いいたします。

2021 年度液体クロマトグラフィー分析士 三段認証試験実施のお知らせ

標記につきまして、下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

期日 2022 年 1 月 14 日 (金) 14.00~16.00

会場 五反田文化会館〔東京都品川区西五反田 1-32-2、交通：JR・都営地下鉄「五反田」駅より徒歩 3 分〕

三段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「新しい分析法を開発し、その妥当性確認 (Method validation) を計画し、実施できるレベル。当該分析・測定技術に関連する学術的知識に詳しく、経験が深い。」と規程されます。液体クロマトグラフィー分析士においては「HPLC を用いた試験に関連する前処理に関する知識が十分である。与えられた公定法や論文を正確に読みこなし、自らその試験を行うか SOP を作成することができる。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学並びに分析化学一般に関する知識を問う内容が約 30% 含まれます。

受験料 7,700 円 (合格者は登録料 4,400 円を別途申し受けます)。入金確認後、受験番号をお知らせします。

受験資格 受験できる方はこれまでに行われた液体クロマトグラフィー分析士二段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ (<https://forms.gle/hycVo28vL824Bt8a7>) にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 12 月 23 日 (木)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金 0802349 名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 ((シヤ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクマトグラフィー)。複数名の受験料を一括で振込まれた場合は、その旨と受験者のお名前を専用ホームページ内に記入してお知らせください。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次回受験料を免除します。

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会・分析士認証専門部会 [nakamura@jsac.or.jp]

2021 年度イオンクロマトグラフィー分析士 (初段) 試験

期日 2022 年 1 月 24 日 (月) 午後 2.00~午後 3.30 分 (90 分)
試験方式 リモートによる筆記試験 (50 問、1 問つき 4 つの選択肢から一つ選択)

受験料 9,900 円 (税込)

受験申込締切 12 月 24 日 (金) 午後 5.00

問合せ先 〒780-8520 高知県高知市曙町 2-5-1 高知大学理工学部 イオンクロマトグラフィー研究懇談会事務局 森勝伸・森みかる [電話：088-844-8306, E-mail：ic@jsac.jp]

2021 年度 LC/MS 分析士三段認証試験実施の お知らせ

標記につきまして、下記要領で実施する予定ですので、お知

らせいたします。

期日 2022 年 1 月 20 日 (木) 14.00~16.00

会場 五反田文化会館〔東京都品川区西五反田 1-32-2、交通：JR・都営地下鉄「五反田」駅より徒歩 3 分。〕

三段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「新しい分析法を開発し、その妥当性確認 (Method validation) を計画し、実施できるレベル。当該分析・測定技術に関連する学術的知識に詳しく、経験が深い。」と規程されます。LC/MS 分析士においては「LC/MS を用いた試験に関連する前処理に関する知識が十分である。与えられた公定法や論文を正確に読みこなし、自らその試験を行うか SOP を作成することができる。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学並びに分析化学一般に関する知識を問う内容が約 30% 含まれます。

受験料 7,700 円 (合格者は登録料 4,400 円を別途申し受けます)。入金確認後、受験番号をお知らせします。

受験資格 受験できる方はこれまでに行われた LC/MS 分析士二段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ (<https://forms.gle/LC4sptcsabxhtJkw9>) にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 12 月 28 日 (火)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金 0802349 名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 ((シヤ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクマトグラフィー)。複数名の受験料を一括で振込まれた場合は、その旨と受験者のお名前を専用ホームページ内に記入してお知らせください。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次回受験料を免除します。

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会・分析士認証専門部会 [nakamura@jsac.or.jp]

第 11 回分析化学の基本と安全セミナー (オンラインセミナー)

期日 2022 年 2 月 4 日 (金) 9.30~17.15

Web ソフト Zoom

受講申込締切 2022 年 1 月 17 日 (月) (必着)

受講料 日本分析化学会会員 (個人・団体会員) 20,000 円、
会員外 30,000 円 (税込み)

申込・問合せ先 〒146-0085 東京都大田区久が原 6-22-6 第 11 回分析化学の基本と安全セミナー実行委員会 実行委員長 平井昭司 [電話：03-6410-3818, E-mail：s-hirai@silk.plala.or.jp]

令和 3 年度分析イノベーション交流会： テーマ「カーボンニュートラル」「前処理」 ～参加募集～

主催 分析イノベーション交流会

口頭発表、技術交流会 (ショートプレゼンテーション)、依頼講演を中心とした、オンライン開催の技術研究交流会です。日本分析化学会の従来の枠組みでは得られない、分野を越えたマッチング、セレンディピティ、俯瞰的思考、複眼的着想の場を提供します。

また、「分析化学」誌や若手の会、産業界シンポジウム実行委員会、関東支部事業の分析機器講習会、地区交流会と連携し、分析分野の活性化やステータスの向上、プレゼンスの拡大を図ります。

期日 2022 年 1 月 25 日 (火)・26 日 (水)

お知らせ

会場 オンライン開催 (Zoom)

ホームページ

<http://bunseki-innovation.net/index.html>

参加費 無料

募集する講演形式 ショートプレゼンテーション(オンライン、10分ほど)

スケジュール

講演・要旨提出締切: 2022年1月17日(金)

参加申込締切: 2022年1月21日(金)

講演申込・参加申込 上記ホームページからリンクしてあるグーグルフォーム、もしくは電子メール (mail@bunseki-innovation.net) でお申込みください(お名前、ご所属、メールアドレス、連絡のとれる電話番号を記載ください)。

講演要旨要綱 上記ホームページにあるテンプレートファイルをご使用ください。

問合先 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 分析イノベーション交流会実行委員長 豊田太郎 [電話: 03-5465-7634, Email: mail@bunseki-innovation.net]

第27回 LC & LC/MS テクノプラザ

～講演募集～

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 (LC懇)

共催 (公社)日本分析化学会, (公社)日本化学会, (公社)日本薬学会, (公社)日本農芸化学会ほか

LCおよびLC/MSを日常的に利用しているオペレーター、技術者の方々の情報交換、問題解決・相互交流の場として、標記テクノプラザを開催します。本プラザの特色は、従来の一般講演や機器・カタログ展示に加え、現場の共通の悩みをその都度「集中テーマ」として取り上げ、実例を材料として具体的に議論することです。問題を解決できた例、問題提起の段階でとどまっている例、これから問題になりそうな事柄などが、いずれも「集中テーマ」の対象になります。この会の主要な目的の一つは、発表していただいた個々の問題を参加者全体の共通の認識にすることにあります。従って、未解決の問題や失敗例でも一向に構いません。役に立つ情報であれば、いわゆるオリジナリティーには必ずしもこだわりません。なお、本テクノプラザの講演者は、次年度の「液体クロマトグラフィー努力賞」の審査対象となります。

期日 2022年1月27日(木)・28日(金)

会場 Zoom ウェビナー (詳細はLC懇ホームページ参照)

講演募集分類 ①集中テーマ: (A)前処理における諸問題, (B)分離における諸問題, (C)検出・データ解析における諸問題, (D)未解決の諸問題, 教訓的失敗例, ②一般テーマ。なお、以下の講演・表彰など(募集しません)も予定されておりあります。企業ヒストリー講演, 体験講演, CERIクロマトグラフィー分析賞受賞講演, LC努力賞受賞講演, LC科学遺産認定講演, LC/MS技術講座, ベストオーガナイザー賞表彰, テクノプラザベストプレゼンテーション賞表彰。

発表形式 Zoom ウェビナー口頭発表

講演申込方法 講演申込は、LC懇のホームページから(必要事項を明記)

講演申込締切 12月24日(金)

講演要旨締切 1月11日(火) 執筆要領に従って要旨を作成し、電子メールに添付。

講演要旨執筆要領

1. A4判白紙を縦に使用し、横17cm、縦25cmの枠内(標準は1行38字、1枚38行)にワープロで1~2枚作成してください。要旨集はA4判で作製します。
2. 講演番号記入欄として、1枚目の左上隅(左8字×4行

分)は空白としてください。

3. 講演題目(拡大文字)を書き、1行あけて発表者の所属と氏名を書く。所属は括弧内にまとめ、氏名にはふりがなを、また発表者の氏名の前には○印を付けてください。

4. 所属・氏名の下を1行あけて、目的、実験、結果、考察などに分けて本文を書いてください。

5. 2枚目は最上段から書いてください。

講演申込先 <https://forms.gle/CvZxXxdvmaZYUjJQ9>

要旨提出先 E-mail: nakamura@jsac.or.jp

登録費 一般4,000円、学生2,000円。

技術情報交換会 1月27日(木)18時より(参加費1,000円)

参加申込および登録費等納入締切日 1月20日(木)(入金締切時刻:15時まで)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)0802349、口座名: シャ)ニホンブンセキカガクカイ [(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

第89回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会 第119回計測自動制御学会力学量計測部会 第39回合同シンポジウム

主催 (公社)日本分析化学会有機微量分析研究懇談会

共催 (公社)計測自動制御学会力学量計測部会

協賛 (公社)日本分析化学会, (公社)日本化学会, (公社)日本薬学会

後援 北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター

期日 2022年6月23日(木)・24日(金)

会場 北海道大学 学術交流会館 他〔北海道札幌市北区北8条西5丁目〕

内容 特別講演・一般講演(口頭発表、ポスター発表)

発表申込締切 2022年2月10日(木) 必着

発表申込方法 ①講演形式(口頭・ポスター発表), ②申込区分(一般or若手(30歳以下)), ③申込者氏名, ④会員番号(有機微量分析研究懇談会会員の場合), ⑤郵便番号・連絡先住所(所在地), ⑥電話番号, ⑦FAX番号, ⑧メールアドレス, ⑨所属機関(和文名および英文名), ⑩講演題目(和文題目および英文題目), ⑪発表者氏名(講演者の前に○印), ⑫発表者英文氏名, ⑬講演の概要(和文100字程度)を、封書またはE-mail(件名:合同シンポジウム講演申込)にて下記の申込先宛にお送りください。

講演要旨原稿締切 2022年4月18日(月) 必着

事前参加登録締切 2022年5月20日(金) 必着

参加登録費 ①主催・共催及び協賛学会会員:4,000円(5月20日(金)まで), 5,000円(5月21日(土)以降), ②非会員:6,000円, ③学生:2,000円

申込・問合先 〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西11丁目 シオノギ創薬イノベーションセンター2階 北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター機器分析受託部門 武田希美 [電話: 011-706-9183, E-mail: symposium2022@gfc.hokudai.ac.jp]

詳細は、日本分析化学会有機微量分析研究懇談会のHP (<https://www.jsac.or.jp/~orgmicro/>)にも掲載予定です。

——以下の各件は本会が共催・協賛・ 後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

女子大学院生・ポスドクのための産総研所内 紹介と在職女性研究者との懇談会

主催 産業技術総合研究所総務本部ダイバーシティ推進室

期日 11月26日(金)～12月14日(火)

会場 オンライン開催

ホームページ

https://unit.aist.go.jp/innhr/diversity2020/ja/events/211126_event.html

連絡先 〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第一情報棟 7F (国研)産業技術総合研究所 総務本部ダイバーシティ推進室 [E-mail: diversity-event-office-ml@aist.go.jp]

2021 石油製品討論会

主催 (公社)石油学会

期日 12月8日(水)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センターおよびオンライン (Zoom Webinar)

ホームページ <http://www.sekiyu-gakkai.or.jp/>

連絡先 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-8-4 陽友神田ビル (公社)石油学会 石油製品討論会係 [電話: 03-6206-4301, FAX: 03-6206-4302, E-mail: events@sekiyu-gakkai.or.jp]

第18回材料セミナー

「産業用ボイラ設備の管理の基礎と技術動向」

主催 化学工学会化学装置材料部会

期日 12月16日(木)

会場 オンライン開催

ホームページ <http://www.scej-kt.org>

連絡先 〒112-0006 東京都文京区小日向 4-6-19 共立会館内 (公社)化学工学会関東支部 [電話: 03-3943-3527, FAX: 03-3943-3530, E-mail: info@scej-kt.org]

JST さきがけ「電子やイオンなどの能動的制御と 反応」領域・オンライン公開シンポジウム

反応制御でエネルギーと環境の未来を拓く
～さきがけ若手研究者たちの挑戦～

主催 (国研)科学技術振興機構

期日 2022年1月8日(土)

会場 オンライン

ホームページ

<https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/event/index.html>

連絡先 〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 (国研)科学技術振興機構 戦略研究推進部 さきがけ「反応制御」領域担当 [E-mail: controlled-reaction@jst.go.jp]

第4回「マイクロプラスチック・シンポジウム」

主催 マテリアルライフ学会

期日 2022年1月11日(火)

会場 オンライン開催

ホームページ <http://materials-life.org/>

連絡先 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 創文印刷工業棟内 マテリアルライフ学会 [電話: 03-3893-0111,

FAX: 03-3893-6611, E-mail: mls@kt.rim.or.jp]

第30回放射線利用総合シンポジウム

主催 (一社)大阪ニュークリアサイエンス協会

期日 2022年1月17日(月)

会場 ONSA Office 会議室

ホームページ <http://onsa.g.dgdg.jp/>

連絡先 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 3-3-27

(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会 [電話: 06-6282-3350, FAX: 06-6282-3351, E-mail: onsa-ofc@nifty.com]

第38回希土類討論会

主催 日本希土類学会

期日 2022年5月11日(水)・12日(木)

会場 熊本市国際交流会館

ホームページ <http://www.kidorui.org/>

連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻内 日本希土類学会事務局 [電話: 06-6879-7352, FAX: 06-6879-7354, E-mail: kidorui@chem.eng.osaka-u.ac.jp]

「分析化学」特集「高分子分析—この10年の 進歩」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、高分子分析研究懇談会と共同で「高分子分析—この10年の進歩」と題した特集を企画しました。高分子材料の特性や分子構造を精密に分析することは、材料特性の発現機構の解明、精密な分子設計、さらには耐久寿命の予測などを行うための重要な基盤となっています。最近の分析機器の進歩やコンピューター技術の発展には目を見張るものがあり、これらの技術の進歩を再認識するために、今回の特集号を企画しました。

本特集号では高分子材料を対象とする、実試料の前処理、組成、分子構造、高次構造、構造と物性との相関、物性発現機構、および重合機構等の解析に関する基本原理、手法開発や解析事例などについての論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿ください。詳細は「分析化学」誌12号またはホームページをご覧ください。

特集論文申込締切: 2022年2月15日(火)

特集論文原稿締切: 2022年4月15日(金)

「分析化学」年間特集「省」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画しており、2022年度は「省」をテーマとすることと致しました。

世界の総人口は現在約78億人となり、人々が健康で豊かに

暮らしていくためには、限られた資源を有効に活用することが不可欠です。また、誰もが高度な科学技術や医療技術の恩恵を受けられるよう工夫することは、持続可能な開発の理念に資する。転じて我が国の近現代史を顧みますと、少ない資源の元での効率の良い技術開発はお家芸と表現しても過言ではなく、分析化学の分野においても、新しい分析方法・技術の開発や改良を通して、複雑化・多様化した現代社会に大きく貢献しているところ です。

こうした背景から、本特集では「省」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「省」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文原稿締切：2022年4月22日（金）（第3期）

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第21回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2022年（第71巻）に第21回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

『ぶんせき』再録集 vol. 1 出版のお知らせ

ぶんせき誌の過去記事の有効利用の一環として、記事をまとめて書籍化するという試みを行っています。2021年5月10日に、『ぶんせき』再録集 vol. 1 が出版されました。

この巻には、2011年から2020年まで、10年間分の＜ミニファイル＞の記事が詰まっています。たっぷり256ページ、2,750円（税込み）のお値打ち本です。多岐にわたる『知って得する 分析化学の豆知識』を堪能できます。

本書は下記10章からなり、それぞれに12から14の話題が集められています。

1. 実験器具に用いられる素材の特徴
2. 分析がかかわる資格
3. 顕微鏡と画像データ処理
4. 最新のweb文献検索データベース
5. ポータブル型分析装置
6. 分析化学と材料物性
7. 分析化学者のための多変量解析入門
8. 土壌分析
9. サンプルング
10. 前処理に必要な器具や装置の正しい使用法

過去のミニファイルをファイリングしておきたいときに、初学者への参考書をお探しのときに、また、非学会員の方に分析化学会のアピールをしたいときに、ぜひご活用ください。

本書はアマゾンオンデマンド出版サービスを利用して出版した書籍ですので、書店には並びません。アマゾンサイトからのネット注文のみとなりますので、ご注意ください。ネットで「ぶんせき 再録集」と入力して検索しても、すぐに出てきます。詳しくは「ぶんせき」誌ホームページをご確認ください。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先はshomu@jsac.or.jpです。原稿の長さに制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月25日（例：1月号掲載→11月25日締切）となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。ただ、本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルをshomu@jsac.or.jpにお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋（共催）

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。（後援又は協賛）
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

第 82 回分析化学討論会

— 講演募集 —

標記討論会を以下の日程で開催いたします。講演申込及び講演要旨の提出にはオンライン登録システムを使用します。第 82 回分析化学討論会よりアトラス社、Confit による講演申込・参加登録システムに変更となります。郵送、FAX 及び電子メールでの受付は一切行いません。本討論会では、主題講演（口頭発表）、一般講演（口頭発表、ポスター発表）、若手講演（ポスター発表）、テクノレビュー講演（口頭発表、ポスター発表）、産業界 R&D 紹介講演（ポスター発表）及び高校生ポスター発表を設けましたので、以下の各事項をご参照のうえ、講演申込登録締切までにオンライン登録システムによりお申し込みください。講演要旨は 1 講演 A4 判 1 頁となります。なお、現在実行委員会では対面での開催を原則として計画を進めておりますが、開催形式等については新型コロナウイルス感染症の状況により、急遽変更となる場合も想定されます。最新の情報や講演申込等の詳細については第 82 回分析化学討論会ホームページ（以下、討論会 HP と略）を必ずご確認ください。

【第 82 回分析化学討論会 公式 Web サイト URL（講演申込）】

討論会 HP : <https://confit.atlas.jp/jsac82touron>

【第 82 回分析化学討論会 講演申込・講演要旨提出スケジュール】

・講演申込登録開始日時：2021 年 12 月 15 日（水）

ご注意ください：講演申込は会員登録がお済みの方に限られます。

非会員の方は必ず個人会員登録をお済ませの上お申し込みください。

・講演申込登録締切日時：2022 年 1 月 26 日（水）（厳守）

・要旨提出締切日時：2022 年 3 月 9 日（水）（厳守）

主催 (公社)日本分析化学会
後援 国立大学法人茨城大学
後援 (一社)水戸観光コンベンション協会
会期 2022 年 5 月 14 日（土）・15 日（日）
日程 5 月 14 日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、産業界 R&D 紹介講演（ポスター）、依頼講演、ランチョンセミナー、交流会、機器展示会
5 月 15 日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、高校生ポスター発表、依頼講演、ランチョンセミナー、機器展示会

※日程は変更する場合があります。

会場 茨城大学水戸キャンパス

交流会 5 月 14 日（土）18 時～20 時（予定）

発表形式 01：主題講演（口頭発表）、02：一般講演（口頭発表）、03：一般講演（ポスター発表）、04：若手講演（ポスター発表）、05：テクノレビュー講演（口頭発表）、06：テクノレビュー講演（ポスター発表）、07：産業界 R&D 紹介講演（ポスター発表）、08：高校生ポスター

討論主題（主題講演）

第 82 回討論会では 5 件の討論主題を設定します。

1. 環境における放射性物質と分析化学
オーガナイザー：島田亜佐子（原子力機構）
2. 量子ビームと分析化学

オーガナイザー：山本博之（量研）、山口 央（茨城大理）

3. 地域から世界へ発信する電気分析化学
オーガナイザー：前田耕治（京工織大院工芸科学、電気分析化学研究懇談会委員長）

4. ヘルスケアと分析化学
オーガナイザー：池羽田晶文（農研機構）

5. 内山一美先生を偲ぶ
オーガナイザー：中釜達朗（日大生産工）、下坂琢哉（産総研）、森岡和大（東薬大）、中嶋 秀（都立大院都市環境）

※討論趣旨及び依頼講演は決定しましたら討論会 HP 上で公開します。

【講演分類一覧】

別記を参照ください。

【講演申込要項】

本討論会に講演申込を行うにあたり、下記の各事項をあらかじめご承諾のうえ、講演申込を行ってください。

1. 講演内容は、未発表のものに限ります。但し、主題講演には、既発表のものが一部含まれていても差し支えありません。
2. 講演時間は、一般講演（討論主題での口頭発表を含む）は 15 分（講演 12 分、討論 3 分）、依頼講演及びテクノレビュー講演（口頭発表）は 30 分（講演 25 分、討論 5 分）。ポスター発表（一般講

演、若手講演、テクノレビュー講演、産業界 R&D 紹介講演、高校生ポスター発表)は 60 分を予定。なお、口頭及びポスター発表の講演方法についての詳細は、討論会 HP に掲載予定です。若手講演(ポスター発表)、テクノレビュー講演(口頭・ポスター発表)、産業界 R&D 紹介講演(ポスター発表)及び高校生ポスター発表への応募の詳細は別記を参照ください。

- すべての口頭発表会場にプロジェクター、アナログ RGB ケーブル、PC 切替器等を用意します。講演者は講演データの入ったノートパソコンを持参して講演発表を行ってください。
- 講演者(登壇者)は、講演申込時点において日本分析化学会の個人会員(正会員、学生会員)であること(産業界ポスターは維持会員も可)、会員は 2022 年会費が納入済みであることが必要です。非会員で講演を希望する方は、学会ホームページ(以下、学会 HP と略)から入会手続きを済ませたうえで、講演申込をお願いします。なお、講演者(登壇者)は別途本討論会への参加申込登録をしないと講演発表ができません。
- ※高校生ポスター発表に応募する方は、入会不要です。詳細は討論会 HP を参照ください。
- 同一演題で発表形式を変えて(口頭とポスター発表など)重複講演することはできません。
- 関連ある複数の講演(口頭発表に限る)を連続して発表したい場合は、講演申込締切日までに発表順序を実行委員会に申し出てください。但し、発表形式と講演分類(主題講演の場合は討論主題分類)が一致している場合に限りです。講演日及び講演時間の指定はご容赦ください。なお、希望にそえない場合もありますので、最終決定は実行委員会に一任下さい。
- 会場の都合等で、発表形式を変更する場合は、事前に実行委員会より連絡します。
- 維持会員として講演申込をされる方は、討論会 HP をご確認ください。

講演申込方法 Web 申込に限ります。討論会 HP および「要旨作成テンプレート」をご覧のうえ、講演申込登録、要旨作成及び提出をお願いいたします。郵送、FAX 及び電子メールでの申込はできません(講演申込登録締切日厳守のこと)。申込者のコンピュータ環境(ネットワーク環境を含む)が原因で講演申込の登録に不備をきたしても、実行委員会、学会事務局は一切責任を負いかねます。講演申込に関する緊急情報や変更点などのお知らせ、講演申込システム等の障害情報は速報性を考慮してすべて討論会 HP (または学会 HP) に掲載しますので、適宜ご覧ください。本誌発行後に登録システムを予告なく変更する場合があります。最新情報等の詳細は討論会 HP を参照ください。

【若手講演(ポスター)募集】

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会
共催 全国若手交流会

期日 5 月 14 日(土)

会場 茨城大学水戸キャンパス

趣旨 分析化学の時代を担う大学院生や若手研究者・技術者による研究成果の発表と相互のさらなる発展を目的として若手講演(ポスター)を企画しました。分析化学は自然科学の基盤を支える重要な学問・研究分野として、また産業の技術革新を押し進める原動力として重要な役割を果たしています。本企画が、大学院生や若手研究者・技術者の研究成果のアピールや情報交換・交流によって分析化学の一層の活性化を促す機会となることを期待しています。このポスターセッションではポスター賞を選出いたします。奮ってご応募ください。

発表形式 ポスター発表会場における 60 分のポスター発表形式。講演要旨は要旨集に掲載します。

講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン(Web)上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“04:若手講演(ポスター)”を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。講演申込締切後の発表形式の変更はできません。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

募集対象 本会学生・個人会員(概ね 30 歳まで)
※非会員は発表できません。

【高校生ポスター発表募集】

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会

期日 5 月 15 日(日)

会場 茨城大学水戸キャンパス

発表形式 ポスター発表会場における 60 分のポスター発表形式。

募集対象 高校生

※高校生ポスター発表に応募する方は、本会への入会は不要です。

講演申込方法 実行委員会へ電子メールで氏名、氏名よみ、高校名等を記載してお申し込みください。折り返し討論会 HP からの申込方法などをお知らせいたします。

※応募要項の詳細は討論会 HP に掲載します。

【テクノレビュー講演募集】

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会

期日 5 月 14 日(土)・15 日(日)

会場 茨城大学水戸キャンパス

発表形式 口頭発表かポスター発表を選択できます。口頭発表は一般講演口頭発表会場で、ポスター発表は一般講演ポスター会場で開催します。口頭発表は 30 分(講演 25 分、討論 5 分)、ポスター発

お知らせ

表は 60 分の予定です。講演要旨は要旨集に掲載します。

講演料 口頭発表、ポスター発表いずれも 1 件 50,000 円。講演料には発表者の参加登録料 1 名分が含まれます。

講演申込方法 一般講演等に準じて Web 上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“05: テクノレビュー講演 (口頭)” または “06: テクノレビュー講演 (ポスター)” を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【産業界 R&D 紹介講演 (ポスター) 募集】

主催 (公社)日本分析化学会・「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会

趣旨 産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 5月14日(土)・15日(日)

会場 茨城大学水戸キャンパス

発表形式 ポスター発表会場における 60 分のポスター発表形式。講演要旨は要旨集に掲載します。

募集対象 産業界で活躍されている研究者、技術者(本会維持会員または正会員に限ります)。ただし、維持会員企業の方のご発表は各企業 1 件に限ることとします。

講演申込方法 一般講演等に準じて Web 上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“07: 産業界ポスター” を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。維持会員として講演申込をされる方は、討論会 HP をご確認ください。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【展示会等出展のお願い】

機器・カタログ出展および

ランチョンセミナー・パナー広告

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会

分析・計測機器関連のメーカー・販売会社、分析技術提供会社との相互交流・情報交換の場として、展示会を開催いたします。また、期間中の昼休みを利用して企業セミナー(ランチョンセミナー)を開催いたします。

[機器・カタログ展示会]

展示日時 5月14日(土)・15日(日)(ただし、15日は14時までの予定)

会場 茨城大学水戸キャンパス(ポスター会場)

展示費用 1 小間: 80,000 円(税別)、カタログ展示(A4判サイズ基準) 1 点: 20,000 円、2 点: 30,000 円(いずれも税別)

募集締切日 3月30日(水)

[ランチョンセミナー]

日時 5月14日(土)・15日(日)12時10分～13時

会場 茨城大学水戸キャンパス(口頭会場)

開催費用 150,000 円(税別)

※セミナー運営に関する費用(昼食用弁当など)は別途。

募集締切日 3月23日(水)

[パナー広告]

公開場所 第 82 回分析化学討論会 HP

掲載期間 2022 年 1 月～5 月

掲載料金 1 枠: 1 月～5 月 50,000 円、3 月～5 月 30,000 円(いずれも税別)

問合せ・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-4 (友野本社ビル) 榊明報社(担当: 後藤) [電話: 03-3546-1337, FAX: 03-3546-6306, E-mail: info@meihosha.co.jp]

※展示会及びランチョンセミナーの内容は変更になる場合がございます。詳細は榊明報社にお問い合わせください。

【宿泊等についてのご注意】

実行委員会では宿泊先等にかかる斡旋は行いません。なお、皆さまの宿泊先についてのアンケートを実施予定ですので、参加受付時には是非ご協力の程、お願いいたします。

【託児所開設について】

第 82 回分析化学討論会では、託児所を開設の予定です。詳細は討論会 HP をご参照ください。

【Web 版講演要旨集の発行日について】

第 82 回分析化学討論会 Web 版講演要旨集の発行日は、2022 年 5 月 2 日の予定です。特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、(公社)日本分析化学会に帰属します。

【その他事項】

講演プログラム速報版は討論会 HP に 3 月下旬までに掲載予定です。

【その他の会合】

[公開シンポジウム]

食の安全と分析化学

主催 第 82 回分析化学討論会実行委員会
オーガナイザー: 宮下 隆(キューピー)

日時 5月15日(日)

会場 茨城大学水戸キャンパス

[ものづくり技術交流会 2022 in 関東]

主催 分析イノベーション交流会実行委員会、(公社)日本分析化学会関東支部

日時 5月13日(金)
会場 茨城大学水戸キャンパス他

【講演分類一覧】

- 01: 原子スペクトル分析 (ICP-MS を含む)
02: 分子スペクトル分析 (吸光分析法, 蛍光・リン光分析法, 赤外・ラマン分析法, 表面プラズモン共鳴など)
03: レーザー分光分析 (顕微分光, レーザー励起発光, 光熱変換分光, 非線形分光など)
04: X線分析・電子分光分析・量子ビーム分析
05: 放射線計測による分析
06: NMR (ESR などを含む)
07: 電気化学分析
08: センサー, センシングシステム
09: 熱分析
10: 有機微量分析 (元素分析を含む)
11: 質量分析 (イオン化法を含む)
12: マイクロ分析系 (マイクロチップ, マイクロ分離システム, 一分子検出系など)
13: フローインジェクション分析
14: 液体クロマトグラフィー (LC/MS を含む)
15: ガスクロマトグラフィー (GC/MS を含む)
16: 電気泳動分析 (キャピラリー電気泳動など)
17: 溶媒抽出法, 固相抽出法, イオン交換系
18: 分離・分析試薬の設計
19: 分析化学反応基礎論 (平衡論, 速度論など)
20: データ処理理論 (AI, ケモメトリックスなど)
21: 標準物質
22: サンプリング, 前処理
23: 界面分析 (液液系, 固液系, 気液系, 気固系, 液滴など)
24: 微粒子分析および微粒子利用分析 (ナノ粒子など)
25: 宇宙・地球に関する分析化学 (天体, 大気, 河川・湖水・海洋, 土壌など)
26: 環境関連分析 (環境汚染物質, 環境放射能, 粉じん, SPM, 生体影響物質など)
27: 無機・金属材料分析
28: 電池・エネルギー材料 (電池材料, 燃料電池材料, バイオマスなど)
29: 有機・高分子材料分析 (有機・無機複合体材料を含む)
30: 食品・農作物・ヘルスケア等分析 (野菜, 畜産, 食品添加物など, 遺伝子組換え, 農薬, 香粧品, サプリメントを含む)
31: バイオ分析 (プロテオーム解析, メタボローム解析, 再生医療にかかわる分析 (細胞, 培地, 足場材, 医療用材料) を含む)
32: バイオイメーjing
33: 医薬分析 (不純物, ドーピング, 代謝物 (ADME), バイオ医薬など)

- 34: 臨床分析 (法科学分析, POCT, 医療用センサー, in vivo 計測, バイオマーカーを含む)
35: 企業における分析解析活用と課題解決への適用
36: その他

【各種お問い合わせ先】

主題講演, 高校生ポスター及び会場などに関するご質問は実行委員会までお問い合わせください。なお今般, 討論会・年会にかかる運営が大幅に変更となった関係で回答までに相応の日数を要する場合がございますことご容赦ください。

第82回分析化学討論会実行委員会事務局

E-mail: ml-82turon2022@qst.go.jp

【重要】講演要旨について

1 講演あたりの講演要旨のサイズはA4判1頁とし, PDFファイルによる提出となります。概略は以下の通りです。詳細は討論会HPを参照ください。

- ・1 講演あたりの講演要旨のサイズはA4判1頁。(図表, 画像等を含みます。)
- ・カラー図表, 画像も可。

記載内容, 形式等については討論会HP内に要旨作成テンプレートを置く予定ですので, そちらをご参照ください。

【第82回分析化学討論会参加登録料について】

本討論会に参加予定の方は, 登壇者を含めて全員参加登録をお願いいたします。登壇者(依頼講演者の一部, 高校生を除く)は討論会への参加申込登録を行わないと講演発表ができませんので, 必ず参加登録をしてください。参加予約登録(オンライン登録)の申込方法の概要は「ぶんせき」誌2月号及び討論会HPに掲載いたします。参加予約登録料等は以下の通りです。

参加登録料

予約: 会員 9,000 円, 学生会員 4,000 円, 非会員 18,000 円, 非会員学生 8,500 円

通常: 会員 12,000 円, 学生会員 5,000 円, 非会員 21,000 円, 非会員学生 9,500 円

高校生およびその指導者は無料です。

※会員, 学生会員の予約・通常登録料は不課税扱いです。非会員, 非会員学生の参加登録料は予約, 当日ともに税込金額です。

【参加登録料の領収書の発行について】

参加登録のサイトからダウンロードできます。